

令和4年度 第3回日立市行財政改革推進会議について

1 日 時 令和5年1月30日(月) 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 日立市役所 研修室

3 出席者

(1) 委員

平田委員長、櫛田委員、稲川委員、小泉委員、弓野委員、石川委員、皆川(泰)委員

(2) 事務局

・総務部 渡邊部長、佐藤次長、瀬和企画員

・行政マネジメント課 片岡課長、鈴木副参事、日下部主幹

4 会議内容

議題(1) 行財政改革大綱(第9次計画)素案に対するパブリックコメント(市民意見)の実施結果について

【事務局】— 資料1に基づき説明 —

発言者	発言内容等
委員長	<p>非常に残念ながら1人3件しか意見がなかったが、日立市だけでなく行政の公共計画(計画づくり、公共事業)に対する市民参画の実態が表れている。パブリックコメントを同時に実施した他の計画も数名だったようだが、市民の公共施策に対する興味・関心が薄れてしまっているのだろう。</p> <p>行政の課題が多様化しているが、市民の考え方も様々であるからこそ、多くの意見をこの計画に取り入れたいところである。市民にとって、行財政改革大綱の重要性について理解することは難しいかもしれないが、パブリックコメントは、行政がどのような計画を検討しているのか、その状況を知る良い機会である。</p> <p>件数が少ない状況を踏まえ、第9次行財政改革において、パブリックコメントの実施方法を検討してはどうか。</p>
委員	パブリックコメントはどのように市民に周知したのか。
事務局	行政マネジメント課窓口、各支所、交流センター、図書館に素案を配架したほか、市ホームページで広報し御意見を募った。
委員	<p>市の政策に関心がない訳ではなく、良い意見を持っていても、普段は仕事や家事・育児で忙しかったり、行政に対する意見を伝える窓口が分からなかったりする場合もある。</p> <p>パブリックコメントのような意見を求める場合は、市内の企業や大学等に協力をお願いしてもよいのではないか。</p>
委員	意見を出した方はどのような方法で提出したのか。
事務局	メールで提出された。ホームページで確認したのか、しっかりとした意見をくれた。

発 言 者	発 言 内 容 等
委 員	<p>パブリックコメントの意見が少ないことに驚いた。1人3件の意見を市民代表としての意見としてしまっていていいか疑問である。</p> <p>最近、自らホームページを見るのではなく、SNS等で自分が興味を持っている情報に関連した情報を見ている。日頃の生活で意見があったとしても、パブリックコメントの実施状況が分からない、また、気が付いたとしても、あれだけの冊子を全て読み込むことは難しい。</p> <p>計画の内容をターゲットごとにジャンル分けし、見る人の条件に合う情報を提供するという方法も検討すべきだろう。</p>
委 員 長	<p>パブリックコメントについて、デジタルを活用し、各個人に合ったプッシュ型の広報を積極的に取り入れてみてはどうか。</p> <p>また、「資料1」日立市行財政改革大綱（第9次計画）のパブリックコメント（市民意見）の実施結果について」について、提出された意見と行財政改革大綱の計画の内容が異なるかもしれないが、もし、意見の内容が他の計画に記載されている場合は、「〇〇計画の△△に記載」や「〇〇計画で実施」など、もっと丁寧に情報提供してはどうか。</p>
事 務 局	<p>「資料1」日立市行財政改革大綱（第9次計画）のパブリックコメント（市民意見）の実施結果について」に、御意見の内容が他の計画に記載されている旨を追記する。</p> <p>→No.29公共施設マネジメントの推進（継続）のご意見に関する「市の考え方」に「公共施設マネジメント計画には、御意見の趣旨が含まれている」旨、追記した。</p>

議題 (2) 行財政改革大綱 (第 9 次計画) の案について

【事務局】 — 資料 2 に基づき説明 —

発言者	発言内容等
No. 1 働き方改革の推進 (継続)	
委員	<p>現在、民間企業でも男性の育児休暇の取得が進み、良い取組だと思いが、父親が休暇を取得しても、どれだけ子育てに参加しているのか疑問であり、父親の意識改革が進んでいないように感じる。</p> <p>現代社会において、女性の社会進出や管理職への登用が進む中、男性は、家庭で担う家事・育児の役割を認識した上で、育児休暇を取得する必要があるだろう。</p>
委員	<p>地方公務員の育児休業等に関する法律に基づき、最長 3 年以内で 2 回取得可能である。県庁の事例では、育児休業を取得して非常に良かったという声を聞いた。</p> <p>自分の仕事として育児に直接参加することで、子どもへの愛情も深まり育児の大変さを身をもって知ることができる。取得率が上がることで、そのような経験をする職員が増えることは良いことだろう。</p>
No.16 水道検針業務効率化 (継続)	
委員	<p>水道検針業務 推進指標「大口径スマートメータの設置数」は、現状 0 基であり、令和 5 年度は 20 基で、そのあと 2 年は 2 基ずつ設置するという考え方で良いか。令和 6、7 年度は少ないと感じるがどういった理由か。</p>
事務局	<p>3 年間で全 24 基の設置を予定しており、個数については更新時期等に基づき設定している。</p>
委員	<p>更新時期に合わせて実施する旨を記載すべきだろう。一般家庭向けはないのか。</p>
事務局	<p>一般家庭向けは、スマートメータの価格が現在のメータの 10 倍程度であるため、今回は、大口径メータから優先的に進める計画となっている。</p> <p>説明の記載は検討する。</p>
No.17 デジタル教材・機器を活用した学びの質の向上	
委員	<p>電子黒板やオンライン事業が進んで便利になっているが、先生がデジタル教材を活用するレベルに差があるように思う。便利な教材を使用しているのだから、システムを熟知している市の職員等が遠隔の操作やサポートすることで、オンライン授業の質を下げることなく、効果的な授業としてほしい。</p>
事務局	<p>生徒 1 人に対し 1 台タブレットを配置し設備は整っているが、教職員の活用状況については、差が生じている現状は認識している。市では、デジタル支援員を雇用して各学校を回りながら指導する体制を整えた。教育委員会としても、現場の意見を踏まえながら支援員の増員を検討している。この御意見を教育委員会へ伝え、教職員に対する指導の更なる充実を進めていく。</p>

発 言 者	発 言 内 容 等
No.18 脱炭素化の推進	
委 員	現在、会瀬スポーツ広場を整備したり、今年は池の川の野球場が改修工事となると思うが、公共施設の改修に当たっては、ゼロカーボンの目標の達成に向けた施設整備を予定しているのか。
事 務 局	<p>施設改修の詳細は、調べて報告する。</p> <p>【担当課確認回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会瀬スポーツ広場 太陽光パネル等の再生可能エネルギーは設置していないが、照明設備はLED化している。 ・野球場 球場内は飛球があり、太陽光パネルの破損が懸念されるため、設置の予定はないが、照明設備はLED化を考えている。
No.32 市障害者就労支援施設（福祉作業所）の在り方検討	
委 員	市内の福祉作業所4施設を教えてください。
事 務 局	桐木田、大みか、滑川、十王の4施設。
委 員	精神障害者は利用しにくい面もある。いろいろな障害者が一緒に利用できる環境を整えてほしい。
No.42 スポーツ施設の魅力向上	
委 員	プロスポーツ選手と触れ合うことは、子どもたちに良い影響を与える。プロチームと連携し、いろいろな情報を発信することで、子どもの数が減少する状況でも、子どものスポーツ人口が増えると思う。スポーツに対する機運醸成の機会として、施設の利用促進や情報発信、PRも行ってほしい。
事 務 局	スポーツ振興課では、子どもや少年団を含めスポーツ人口拡大に向けた取組を進めるため、プロスポーツ各団体と協議する機会がある。この御意見も、子どもたちの更なるスポーツの機会を増やすための要望として、担当課に伝えたい。
No.46 市政情報の発信方法に関する在り方検討	
委 員	パブリックコメントの実施方法について、もっと意見をいただけるよう工夫する取組を加えてはどうか。
事 務 局	他のパブリックコメントの応募状況についても件数が少ないことから、内部でも実施方法を見直す方向で考えているが、事務局としては行財政改革の取組として「No.2 業務改善の推進」で実施する方向で検討する。
委 員 長	パブリックコメントは、多様な市民意見を計画に取り入れることが目的であるため、推進指標がパブリックコメントの応募件数となった場合、その件数を稼ぐこと自体が目的とならないよう注意しなければならない。例えば、パブリックコメント以前に市民とのコミュニケーションが十分に行われ、計画に加味されていれば、パブリックコメント件数は減る可能性もある。

発 言 者	発 言 内 容 等
No.48 若者視点による魅力発信の推進	
委 員	若者団体公式SNS、市民クリエイター（広報技術者）とはどういったものか教えてもらいたい。
事 務 局	市民クリエイターは、写真やライター等の広報の技術を持っている方であり、ひたち若者かがやき会議が実施する発信プロジェクト HITACHEER（ヒタチア）で情報を発信して、まちの活性化につなげている。
No.52 職員の人材育成の推進（継続）	
委 員	推進指標の令和5年度65%はこれからスタートする指標か。
事 務 局	この指標は、H29～R3年度の平均値から算出したものである。
委 員	研修後のアンケートで「良かった」の割合が65%は低いのではないか。一般的には、90%以上だと思うが、研修の講師は誰が選んでいるのか。
事 務 局	人事課人材育成室である。
委 員	講師の選定は難しいが、研修の肝心なところだと思う。研修は、職員の意識や能力の向上を図り、仕事に直接結びつくところで大変重要だと思うが、「良かった」が低いのであれば、研修自体の内容を見直すべきだと思う。
委 員 長	アンケートを取っているということは、「良かった」が低い原因を把握していると思うので、改善の余地があるのではないか。
事 務 局	<p>指標の見直しを検討する。</p> <p>【担当課確認回答】</p> <p>外部講師研修終了アンケートにおける満足度「良かった」は、①「良かった」②「ある程度良かった」③「あまり良くなかった」④「良くなかった」の4段階の1番上①の評価割合を向上させることを目的としている。</p>
【推進指標について】	
委 員	<p>No.48「若者視点による魅力発信の推進」の市民クリエイター数について、年間2人ずつ増加する目標が妥当なのかどうか分からない。年間2人が多いのか少ないのか、基準が分からないので判断が難しい。</p> <p>No.50「住宅用火災警報器設置及び維持管理の推進（継続）」についても、設置率が年1%ずつ増加することに対して、どれだけの時間とコストがかかるか分からないので、妥当性が分からない。</p>
事 務 局	<p>市民クリエイターは、令和7年度までに現在の人数6人から2倍の増加を目指すという担当課の計画に基づき、段階的に設定した。</p> <p>住宅用火災警報器は、全国平均が84%という状況で、啓発することで現状値から少しでも100%に近づけるよう段階的に設定した。</p>
委 員 長	<p>指標の数字について、単年度なのか累計なのか、分かりにくいところがある。</p> <p>施設等の入場者数・利用者数を比較する「現状値」が令和3年度の数値でよいか、コロナ前の水準との比較も考えられる。</p>
事 務 局	確認する。

発 言 者	発 言 内 容 等					
事 務 局	【担当課確認回答】 施設の利用者数等の推移					
	推進 No.	推進事項	推進指標	元年度	2年度	3年度
	39	文化施設等の魅力向上（継続）	文化事業参加者数及び文化施設の入館者数	680,917	90,132	199,917
	40	かみすわ山荘の魅力向上	かみすわ山荘の利用者数	3,500	939	895
	41	観光施設の魅力向上（継続）	入場者数	625,572	340,108	408,186
	42	スポーツ施設の魅力向上	スポーツ施設の利用者数	1,104,494	558,335	691,999
	43	図書館の魅力向上	図書館の利用者数	217,746	154,440	175,461
	44	博物館の魅力向上	館外活動・学校支援活動等の受講者数	1,123	489	793
	合計			2,633,352	1,144,443	1,477,251
<p>コロナ禍前（令和元年度）の利用者数等と比較すると、令和2年度は大きく落ち込み、令和3年度は、利用者数等が増加の傾向にあるものの、コロナ禍前の水準までは戻っていないため、「現状値」は令和3年度の数値とするが、利用促進に向け鋭意努力し、早急にコロナ禍前以上の利用者数増加等を図ってまいりたい。</p>						
【広報の手法について】						
委 員	アンケートやパブリックコメントは、交流センターや支所、図書館での実施に頼っている。市のホームページの閲覧人数の検証や、新聞折込等での周知など、デジタル化が進む時代においても紙媒体は大切だと思う。					

今後のスケジュール

【事務局】

- ・本日いただいた意見を踏まえて、市長以下各部長で構成する行財政改革推進本部会議や市議会で御審議いただき、策定作業を進め、3月中に決定してまいりたい。
- ・今回の会議の議事録については、ホームページで公表予定のため、事前に公表内容を各委員に確認していただく。

以 上